

第290回 日本体育大学長距離競技会

【出場結果】

実施日 : 9月19日(日) 5000m

会場 : 日本体育大学健志台陸上競技場

出場者 : 渡辺 瑠偉 親崎 達朗 小林 航央 関口 大樹 田中 龍誠

出場種目・出場者・リザルト

氏名	関口	田中	親崎	渡辺	小林
種目	5000m	5000m	5000m	5000m	5000m
組	6組目	6組目	8組目	8組目	12組目
タイム	14'46"67	14'47"41	14'28"94	14'46"84	14'00"89
順位	4/27	5/27	3/30	16/30	7/28

【レポート】

コロナ禍の中、暑い夏も感染対策を徹底しながら練習を続けてきましたが、11月3日に開催が予定される東日本実業団駅伝競走大会も2ヶ月余りに迫ってきました。

駅伝本番を見据える中、秋のシーズン初戦のレースとして5名の選手が日本体育大学長距離記録会に出場しました。

まず、6組目に出場した関口、田中は14分40秒を目標に走り、関口は序盤から積極的に先頭集団についてレースを進めましたが、ラスト1600mの勝負処でギアチェンジが効かず、後方でレースを進めていた田中と最終的には競る形となり、関口が14分46秒台、田中が14分47秒でゴール、最低限の走りは見せてくれましたが、後半の走りに課題が残りました。



終盤もがきながら競り合う関口と田中

8組目に出場した渡辺は、怪我や体調不良に悩まされ久しぶりのレースとなり、親崎も夏場にしっかりと練習を継続しており、自己記録更新を狙ったレースとなりました。

両名とも序盤から中盤にかけてしっかりと先頭集団につきレースを進め、レース感が鈍っていた渡辺は中盤以降にペースを落として14分46秒台でのゴールとなりましたが、久しぶりのレースとしては存在感を示せたと思います。親崎は終盤までしっかりと先頭集団に喰らいつき、組3着の14分28秒台でゴールしました。中盤ペースが中だるみしたこともあり、自己記録の更新はなりませんでした。好調さをキープしていることが確認出来ました。



久しぶりのレース感を味わいながら走る渡辺



冷静な走りで安定感が光る親崎

12 組目に出場した小林は夏場の練習も順調にこなせており、14 分を切るレースを意識してレースの流れに乗っていききました。

中盤以降、集団を飛び出す選手もいましたが、小林は無理をせず自身のペースを貫き、得意のラスト 1000m を迎えると徐々にペースを上げて、最後は自慢のラストスパートも冴え 14 分 00 秒台でのゴールとなりました。

13 分台とはなりませんでしたが、次週に控える全日本実業団対抗陸上競技選手権大会での 1500m での走りに期待が膨らむ結果となりました。



新電元のスピードスター小林のラストスパート

チームの今後の予定としましては、各選手の状態確認と駅伝前の調整を兼ね、10月2日に予定される日本体育大学長距離競技会 10000m への出場を予定しております。

引き続きまして、皆様の温かいご声援をお願い致します。

以 上